

主体的に考える児童の育成
— 国語科における協働的な学習を通して —

1年生の研究授業より

1回目の締めとして、大変学びの多い貴重な授業を提供していただいた岡村先生に感謝です。
今回の検討会の内容から、1年生の授業で共通理解したいところは以下の点です。

- 意図的指名を行う際は、座席表を活用し、ABCなどの記号をつけて児童の考えを見取る。さらに指名する順番も考えるとよい。
- 机間巡視では、よい考えに赤で丸を付けてあげると、自信を持って自分の考えを発表することができるようになる。

今後の研究授業の中に、意識的に取り入れましょう！！



林先生の指導助言より

今後の参考になりそうなところを載せてみます。

物語文の読取では想像を広げながら読む



書いていることを基にして、書いていないことを考えることが大事！

意図的指名で発表させる際、板書を視覚的に分けると良い(段階ごとに)



全員の分を板書で視覚的に書くと、登場人物が考えを変化させていった流れが明確に見えるようになる。